

# SOX+製品 導入ガイド

この度は、SOX+製品をご購入頂きましてありがとうございます。

本「導入ガイド」は、製品のインストール手順および注意事項についてまとめたガイドです。

お使いになる製品によりご覧頂く項目が異なりますので、以下の目次を参考に必要な項目をご覧ください。

## ◆ iGrafx および SOX+をインストールする

### ➤ iGrafx をインストールする・アップグレードする

- ・ iGrafx 製品インストールガイド..... P5

### ➤ SOX+関連製品をインストールする・アップグレードする

- ・ SOX+ 詳細インストールガイド..... P11

### ➤ SOX+の英語版・中国語版を使用する

- ・ 多言語版 SOX+ ご利用ガイド..... P21

## ◆ 旧バージョンから移行する

### ➤ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- ・ SOX+ アップグレードガイド..... P25

### ➤ SOX+ 5.0 の新機能を知る

- ・ SOX+ 新機能概要..... P29

### ➤ SOX+ の新機能を確認する

- ・ SOX+ バージョンアップ履歴..... P31

## ◆ 整備/運用評価オプションをご利用の場合

### ➤ SOX+ 整備/運用評価オプションを導入する

- ・ SOX+整備/運用評価オプションスタートガイド..... P35

### ➤ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- ・ SOX+整備 / 運用評価オプションアップグレードガイド..... P37



## iGrafx および SOX+をインストールする

### ➤ iGrafx をインストールする・アップグレードする

- ・ iGrafx 製品インストールガイド ..... P5  
iGrafx FlowCharter や iGrafx Viewer をインストールする際にお読み下さい。

### ➤ SOX+関連製品をインストールする・アップグレードする

- ・ SOX+ 詳細インストールガイド ..... P11  
SOX+や AdministratorKit (管理者キット)、SOX+ Viewer をインストールする際にお読み下さい。  
なお、SOX+をアップグレードした場合は、P.25 『SOX+ アップグレードガイド』もあわせてお読み下さい。

### ➤ SOX+の英語版・中国語版を使用する

- ・ 多言語版 SOX+ ご利用ガイド ..... P21  
SOX+製品を海外でご利用される場合、事前にお読み下さい。



# iGrafx® FLOWCHARTER iGrafx® PROCESS

## iGrafx 製品 インストールガイド

この度は iGrafx 製品 をご購入頂きましてありがとうございます。

このガイドでは、iGrafx 2011アプリケーションのインストールについて説明しております。

SOX+関連製品のインストールについては『SOX+詳細インストールガイド』を、整備/運用評価オプションの導入については、『整備/運用評価オプション スタートガイド』をそれぞれご覧ください。

### ◆ iGrafx® インストールディスク

「iGrafx® インストールディスク」では、購入されたライセンスとそのライセンスキーに応じて、以下の iGrafx 2011 アプリケーションをインストールすることができます。

購入されたライセンスの種類については、ライセンス証書の記載をご覧ください。

製品名	購入ライセンス
iGrafx Viewer 2011	ライセンス不要
iGrafx FlowCharter 2011	iGrafx FlowCharter License Multilingual
iGrafx Process 2011	iGrafx Process License Multilingual
iGrafx Process 2011 for Six Sigma	iGrafx Process for SixSigma License Multilingual

Multilingualライセンスでは、日本語および英語の他、中国語、ドイツ語、フランス語等8か国語をご利用いただけます。これらの言語セットは、インストール先の標準言語設定を判別してインストールされるほか、カスタムインストールで任意に追加できます。

※1)SOX+は日・英・中の3か国語に対応しています

※2)iGrafx Process Central Client 及び SOX+ Server Edition は日本語版のみ対応しています

### ◆ システム要件

iGrafx 2011 アプリケーションをインストールしてご使用になるには、以下の環境が必要です。

CPU	Intel Pentium II processor 350MHz 以上または同等の互換プロセッサ(1GHz 以上を推奨)
OS	Windows XP SP3, Windows Vista SP1,SP2, Windows 7 ※ <b>Windows 2000では動作いたしません</b>
メモリ	512 MB 以上を推奨
ディスプレイ	XGA(最小で 1024×768 ピクセル)以上の高解像度ビデオグラフィックカード、およびモニター
HDD空き容量	iGrafx標準インストール:約 106MB    /    カスタムインストール:約 118MB ~ 130MB
ドライブ	CD-ROM ※CD-ROMドライブが使用できない場合は、インストールに限定して社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます。利用規約については、CD同梱の『license.txt』をご覧ください

※SOX+関連製品の固有の必要環境については、『SOX+詳細インストールガイド』をご覧ください。

## ◆ iGrafX 2011のインストール

iGrafX 2011アプリケーションのインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

- 「iGrafX® インストールディスク」CD-ROM（青色のラベルのCD-ROM）
- iGrafX 2011 アプリケーションのライセンスキーが記載されたライセンス証書

※例：iGrafX FlowCharterの場合（24桁のキーが記載されています）

Product Number:	LCFCMUL2PCMNT1A
Product Description:	iGrafX Flow Charter 2009 License Multilingual (1 - 10)
License Key:	XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX



iGrafX 2011を新しくPCにインストールする場合は、「①iGrafX 2011を新規インストールする」をご覧ください。

旧バージョンがインストールされているPCをiGrafX 2011にアップグレードする場合は、「②iGrafX 2011にアップグレードする」をご覧ください。

## ① iGrafX 2011を新規インストールする

iGrafX Process Central Client 及び SOX+ Server Edition を利用する場合には、カスタムインストールが必要です。詳細は、別冊の『iGrafX Process Central インストールガイド』をご覧ください。

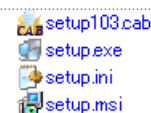
iGrafX 2011の新規インストールは、以下の手順で行います。

1. PCに「iGrafX® インストールディスク」CD-ROMをセットし、Windows インストーラが起動して「iGrafX 2011 セットアップ」の画面が出るまでしばらく待ちます。

画面の指示に従い、すべてのWindows プログラムを閉じた上で「次へ(N)」をクリックしてください。

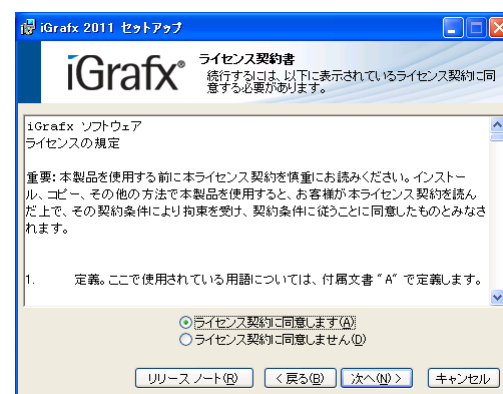


画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ]の CD-ROM ドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いてから「setup.exe」を実行してください。



2. 「ライセンス契約書」ページが表示されます。ここでは、本製品についてのiGrafX, LLCのエンド・ユーザー・ライセンス契約が表示されています。

契約の文章を最後までご覧頂いた上で「ライセンス契約に同意します(A)」のボタンにチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。



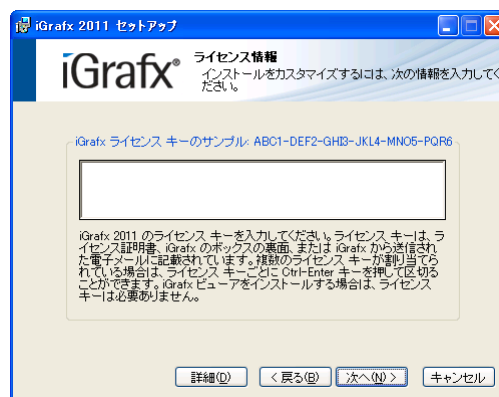
### 3. 「ライセンス情報」ページが表示されます。

お手元の iGrafx 2011 アプリケーション ライセンス証書に記載されているライセンスキー(24文字)を入力してください。

キーはライセンス証書「**iGrafx Licensing Certificate**」  
(Product Description: iGrafx xxxxx License Multilingual)の  
「**License Key:**」の行に記載されています。

必要なキーを入力してから「次へ(N)」をクリックしてください。

キーを入力せずにインストールすると、編集機能に制限のあるiGrafx Viewerとしてインストールされます。その場合はインストール後にiGrafxを起動し、[ヘルプ]メニューの[バージョン情報]からライセンスキーを追加登録してください。



- ・大文字小文字は区別されません
- ・「 - 」は入力しなくても構いません

### 4. 「インストールの種類を選択」ページが表示されます。

あらかじめ「標準」が選択されていますので、通常はそのまま「次へ(N)」をクリックして進んでください。  
(6.へ進んでください。)

次のような場合は、「カスタム」を選択してください。

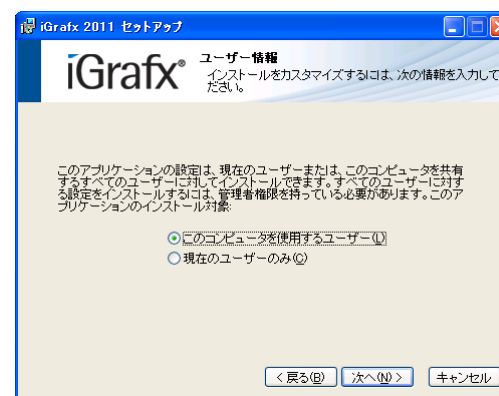
- ・使用ユーザーを限定したい場合
- ・アプリケーションのインストール先を指定したい場合
- ・使用する言語を追加したい場合
- ・パブリックメディアコレクションをインストールしたくない場合
- ・iGrafx Process Central 及び SOX+ Server Edition を利用する場合



### 5. [カスタムインストールを選択した場合]

#### ①最初に「ユーザー情報」ページが表示されます。

管理者権限を持っている場合は、  
「このコンピュータを共有するすべてのユーザー」にインストールするか、  
「現在のユーザー」(インストールを今実行しているユーザー)だけに  
インストールするかを選択することができます。



#### ②次に「インストール先フォルダ」ページが表示されます。

ここでは、アプリケーションのインストール先を必要に応じて変更することができます。



③次に「機能の選択」ページが表示されます。  
ここでは、例えば以下のような機能の選択ができます。

➤ 言語セットの選択

追加したいアプリケーション言語セットを選択することができます。

➤ パレット(パブリックメディアコレクション)の選択

不要なコレクションをインストール対象から外すこともできます。

➤ アプリケーションショートカットの追加

iGrafX Viewerなどのショートカットを追加することができます。

➤ iGrafX Process Central Client のインストール

iGrafX Process Central 及び SOX+ Server Edition をご利用の際にインストールします。

追加したい機能もしくはインストールから外したい機能を選択し、「次へ(N)」をクリックしてください。

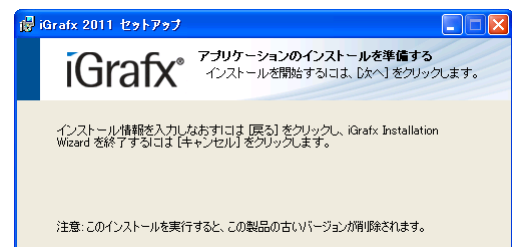


6. 選択した機能に合わせて「ディスク容量」の確認画面が出ますので、そのまま「次へ(N)」をクリックします。



7. 全ての選択が終わりましたら、インストールを開始します。「アプリケーションのインストールを準備する」ページが表示されますので、あらためてインストールの準備が整っているかどうか確認の上、「次へ(N)」をクリックしてください。

インストールが始まります。



8. インストールが終了すると、「インストールの完了」画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。



9. Windowsの「スタート」メニューの「すべてのプログラム」に「iGrafX」が登録されていることを確認し、PCから「iGrafX®インストールディスク」CD-ROMを取り出します。

SOX+など関連製品のインストールが必要な場合は、CDを入れ替えて、続けてインストールを行ってください。

SOX+とそのインストールについては、『SOX+詳細インストールガイド』をご覧ください。

## ② iGrafx 2011にアップグレードする

iGrafxの旧バージョンがインストールされている場合、上書インストールでiGrafx 2011にアップグレードを行うことができます。アップグレードにはiGrafx 2011用のライセンスキーが必要です。旧バージョンのライセンスキーは使用できません。アップグレードは、新規インストールと同様の手順で行うことができます。P.6の「①iGrafx 2011を新規インストールする」をご覧ください。

### 【図形コレクション・テンプレートの引継ぎ】

旧バージョンで、パブリックメディアコレクションに図形コレクションを追加して使用していた場合や、共有テンプレートにテンプレートを追加していた場合、自動的に新しいバージョンに引き継がれません。アプリケーションのインストールフォルダ内にある旧バージョンの「Palette」や「Template」フォルダから、新しいバージョンの同名のフォルダにファイルを移動してください。

### 【SOX+を使用されている場合】

iGrafxをアップグレードした場合は 必ず同時にSOX+もアップグレードしてください。  
iGrafx 2011では、SOX+の旧バージョン(Ver.4以下)はお使いいただけません。

### 【ドキュメントの保存形式について】

iGrafxをアップグレード後に、旧バージョンのiGrafxファイルを開いた際に表示される確認メッセージを、以後表示されないようにするには、iGrafx最新版の標準形式「iGrafx ドキュメント (\*.igx)」形式で保存し直してください。なお、最新形式で保存しますと、旧バージョンとの互換性はなくなりますのでご注意ください。

## ③ iGrafx Viewerを新規インストールする

iGrafx Viewerは、iGrafxドキュメントの閲覧と印刷のみができる文書閲覧用ソフトウェアです。フローチャートを編集することは出来ませんが、ライセンスの制限がなくインストールができます。

**iGrafx Viewer**をインストールするには、**ライセンスキーを何も入力せずに**iGrafx 2011をインストールしてください。もしくは、インストールされているiGrafxアプリケーションを起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」の「管理」ダイアログでライセンスキーを全て削除してください。

SOX+をiGrafx Viewerにインストールすることはライセンス上できません。SOX+ Viewerをご利用ください。  
SOX+ Viewerとそのインストールについては、『SOX+詳細インストールガイド』をご覧ください。

#### ④ iGrafx 2011をアンインストールする

iGrafx 2011が不要になった場合は、「プログラムの変更と削除」からアンインストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューの「プログラムのアクセスと規定の設定」の「プログラムの変更と削除」を選択します。
2. 「iGrafx 2011」を選択して「削除」を選択し、確認画面では「はい」をクリックします。
3. 画面の手順に従ってアンインストールを行ってください。

アンインストールする代わりに、ライセンスキーだけを削除してiGrafx Viewerとして残しておくことができます。

1. iGrafxを起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」からライセンスキーの「管理」ダイアログを開きます。
2. 「有効なライセンスキー」の中にあるライセンスキーを選択し、「削除」します。

アクティベーションの確認ダイアログを出したくない場合は、「Viewer 2011」のショートカットからiGrafxを起動してください。ショートカットが無い場合は、インストールCDから追加することができます。

※SOX+はライセンスキーの削除はできません。SOX+については必ずアンインストールが必要です。

## SOX+詳細インストールガイド

# SOX+

この度は SOX+製品をご購入頂きましてありがとうございます。

このガイドでは、SOX+およびその付属アプリケーションのインストールについて説明しております。

iGrafxのインストールについては、『iGrafx製品インストールガイド』を、整備/運用評価オプションの導入については、『整備/運用評価オプション スタートガイド』をご覧ください。

### ◆ 製品構成

「SOX+追加インストールディスク」からは、以下のアプリケーションをインストールできます。

アプリケーション	必要(購入)ライセンス	対応言語
SOX+	SOX+ライセンス	日・英・中
SoxPlusAdministratorKit		日・英・中
SOX+ Viewer	SOX+ Viewer ライセンス	日・英・中
SOX+ 整備/運用評価オプション	評価オプションライセンス	日本語版のみ

※サーバー連携機能は日本語のみ対応です。

#### ■ SOX+

**iGrafx 2011(2007/2009)アプリケーション**上で動作する、内部統制文書化作業支援ツールです。

SOX+をインストールするには、SOX+ライセンス証書に記載のSOX+ライセンスキーが必要です。

※ 事前にiGrafx 2011(2007/2009)製品のインストールを行ってください。

#### ■ SoxPlusAdministratorKit (以下、AdministratorKit)

SOX+の設定をカスタマイズするための管理者向けのソフトウェアです。

AdministratorKitを使用するには、SOX+ライセンス証書に記載のAdministratorKitライセンスキーが必要です。

iGrafxおよびSOX+がインストールされていなくても使用できます。

#### ■ SOX+ Viewer (オプション製品)

**iGrafx Viewer**上で動作する、SOX+で作成されたドキュメントを閲覧するためのドキュメントビューワーです。

SOX+ Viewerのインストールには、SOX+ライセンス証書に記載のSOX+ Viewerライセンスキーが必要です。

※ 事前にiGrafx Viewerのインストールを行ってください。

#### ■ SOX+ 整備/運用評価オプション(オプション製品)

SOX+に付属する、オプション機能です。別売のライセンスを購入することで、SOX+に整備評価・運用評価・CSAなどの機能を追加します。

## ◆ システム要件

SOX+およびAdministratorKitのインストールには、PCの管理者権限が必要です。

SOX+およびAdministratorKitの動作に必要な環境は以下の通りです。

OS	iGrafxに準じます iGrafxのシステム要件については、『iGrafx製品インストールガイド』をご覧ください。 ※iGrafx 2009, 2011はWindows 2000では動作しません
CPU・メモリ	iGrafxに準じます
HDD 空き容量	SOX+: 約 40MB AdministratorKit: 約 40MB
ドライブ	CD-ROM ※インストールのためであれば、社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます 利用規約についてはCD同梱の『Sox+ ライセンス許諾.txt』をご覧ください
RCM 出力	Microsoft Office Excel XP, 2003, 2007, 2010 プリンタドライバが一つ以上インストールされていること
AdministratorKit	Microsoft .Net Framework 1.1 (無い場合はインストールされます) Microsoft Office Excel, XP, 2003, 2007, 2010 プリンタドライバが一つ以上インストールされていること

RCM帳票の出力およびカスタマイズには、Microsoft Excel XP以上とプリンタドライバが一つ以上インストールされている必要があります。インストール前にご確認ください。

## ◆ アプリケーションの対応言語

iGrafxおよびSOX+は、インストールPCのOSの使用言語を自動判定して、それぞれ適切な言語のバージョンでインストールされます。詳細については「**多言語版SOX+ご利用ガイド**」をご覧ください。

## ◆ 内部統制文書化ツールのインストール

SOX+を新しくインストールする場合は、「①SOX+を新規インストールする」をご覧ください。

旧バージョンが既にインストールされている場合は、「③SOX+をアップグレードする」をご覧ください。

### ① SOX+ を新規インストールする

SOX+のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

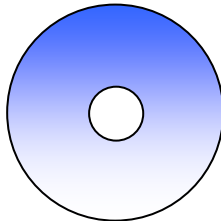
- 「SOX+追加インストールディスク」 CD-ROM (黄色のラベルのCD-ROM )
- SOX+のライセンスキーが記載された**黄色**のライセンス証書  
「SOX+ License Key」として 16桁 のキーが記載されています。

1. SOX+のインストールには、あらかじめPCにiGrafx 2011(2007/2009)がインストールされている必要があります。PCにiGrafx製品がインストールされていない場合は、事前にインストールしてください。

※SOX+を購入すると、パッケージには通常2枚のCDが納められています。青いラベルのCDからiGrafx製品をインストールし、次に黄色のラベルのCDからSOX+をインストールします。

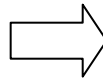
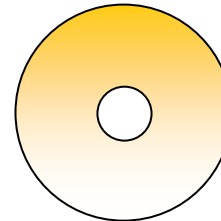
### 青色のラベルの CD から

iGrafx をインストールする



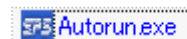
### 黄色のラベルの CD から

SOX+アドオンをインストールする



2. PCに「SOX+追加インストールディスク」のCD-ROMをセットし、「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されるまで少し待ちます。

画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ]のCD-ROMドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いて「Autorun.exe」を実行してください。



3. 「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されたら、以下のよう選択します。

#### **Step1. インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択してください。**

⇒インストールを行うSOX+製品のバージョンを選択します。通常は「X.X.X (最新バージョン)」を選択します。

#### **Step2. インストールするソフトウェアを選択してください。**

⇒インストールを行う製品にチェックを入れます。

「SOX+ソフトウェア」の「SOX+ Ver.X.X.X(要iGrafx 2011インストール)」にチェックを入れます。

※SOX+ Server Edition として利用される場合、SOX+をインストールするには、事前にiGrafx Process Central Client がインストールされている必要があります。

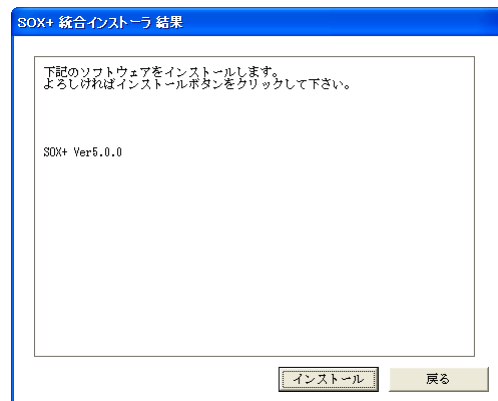
iGrafx Process Central Client のインストール方法については、別冊の『iGrafx Process Central インストールガイド』をご覧ください。

※SOX+ Ver.5はiGrafx 2011の他、iGrafx 2007、iGrafx 2009にもインストール可能です。

画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

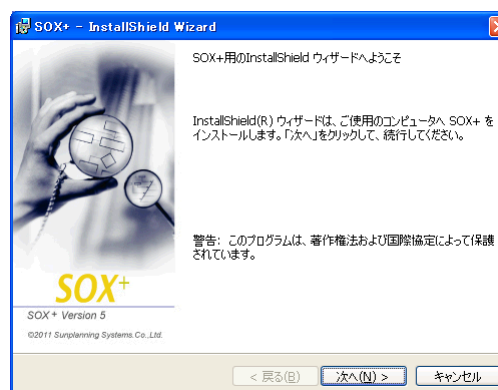
4. 「SOX+ 統合インストーラ 結果」画面が表示されます。

インストール対象になっているアプリケーション名を確認して、「インストール」をクリックします。



5. SOX+のインストーラ「SOX+ - InstallShield Wizard」が起動します。

「次へ(N)」をクリックします。

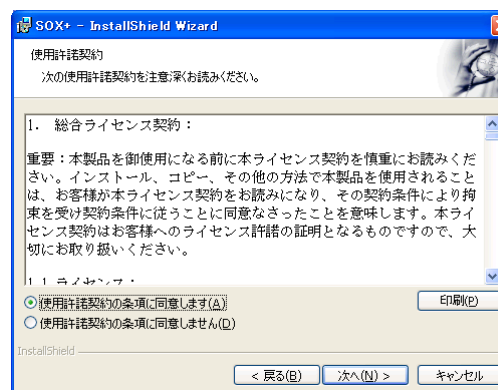


6. 「使用許諾契約」ページが表示されます。

ここでは、本製品についての(株)サン・プランニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

契約の文章を最後までご覧頂いた上で「使用許諾契約の条項に同意します(A)」のボタンにチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。

(総合ライセンス契約のテキストは、CD内にも納められています)

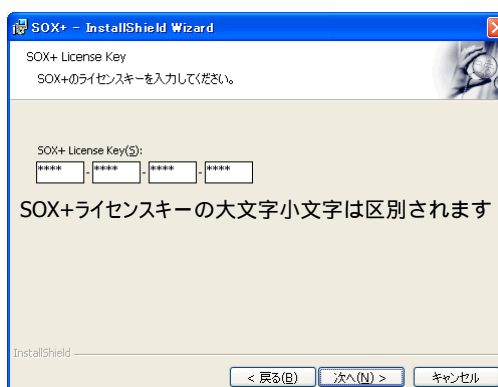


7. 「SOX+ License Key」ページが表示されます。

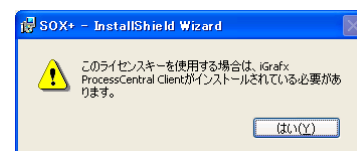
ここでは、お手元のSOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー（16文字）を入力してください。

ライセンスキーは、対応するバージョンのライセンス証書「iGrafx Licensing Certificate」\*の「SOX+ License Key」の行に記載されています。

\* Product Description: SOX+ Licenseと記述されている証書です



※右記のようなメッセージが表示された場合、  
iGrafX Process Central Client をインストールする必要があります。  
詳細は、別冊の『iGrafX Process Central インストールガイド』をご覧ください。

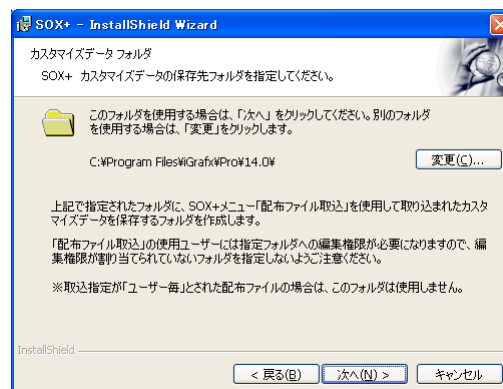


入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。

8. 「カスタマイズデータフォルダ」画面が表示されます。  
ここでは、**SOX+カスタマイズデータ** (配布ファイル)のインストール先を標準のフォルダから変更することができます。

PCユーザーで共有したい配布ファイルをユーザーに取り込ませる際、標準のフォルダでは権限上の問題がある場合などにあらかじめインストール先を変更することができます。

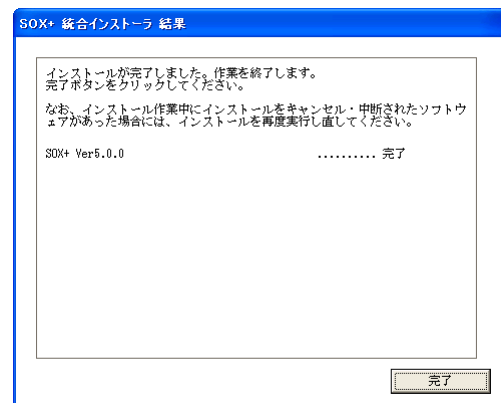
**Windows Vista, Windows 7** をご利用で、配布ファイルの取り込み先を「共有」にしたい場合は、カスタマイズデータフォルダを**User Account Controlの対象外**のフォルダに変更してください。



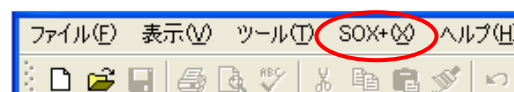
取り込み先が「ユーザー毎」であれば、カスタマイズデータフォルダの変更は必要ありません。  
配布ファイルと取込の詳細については、『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』をご覧ください。

変更がなければそのまま「次へ(N)」をクリックします。

9. 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、「インストール(I)」をクリックしてください。  
インストールが開始されます。
10. 「インストールの完了」画面が表示されます。  
「完了(F)」をクリックしてください。
11. 「**SOX+統合インストーラ結果**」画面が表示されます。  
「完了」をクリックしてインストーラを終了します。



12. Windowsの「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」「iGrafX」の順にポイントし、「**FlowCharter 2011**」を選択しソフトウェアを起動します。
13. インストールが成功していればメニューに「SOX+」が追加されています。



SOX+の使い方の詳細については、Windowsの「スタート」メニューの「すべてのプログラム」「iGrafX」に登録されている、『SOX+ ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ② SOX+ Viewer をインストールする（有償オプション）

SOX+ Viewerをインストールするには、SOX+ Viewerライセンスキー（有償オプション）が必要です。

SOX+ Viewerのインストールの手順はSOX+に準じますが、インストールにはiGrafx Viewerがインストールされている必要があります。（ライセンス上、SOX+ Viewer をiGrafx FlowCharterにインストールして使用することはできません。）

iGrafx Viewerではフローチャートを閲覧・印刷できます。さらにSOX+ Viewerをインストールすると、SOX+ダイアログの内容の閲覧やRCM出力、印刷ヘッダーへの文書情報の出力も行えるようになります。

## ③ SOX+ をアップグレードする

既にSOX+の旧バージョンがインストールされている場合、上書きインストールでアップグレードを行うことができます。

SOX+ Ver.5 のインストールには、Ver.5 のライセンスキーの入力が必要です。

旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめSOX+の新しいライセンスキーが記載されたライセンス証書をお手元にご用意ください。

### 【設定の引継ぎ】

SOX+をアップグレードすると、以前のバージョンで取り込んでいた配布ファイルは使用できなくなります。

新しいバージョン用の配布ファイルを配布ファイルの作成者に依頼してください。

配布ファイルのアップグレード方法や、ドキュメントの互換性などのアップグレード時の注意点については、『SOX+アップグレードガイド』をご覧ください。

整備/運用評価オプションをお使いの場合は、『整備/運用評価オプション アップグレードガイド』も併せてご覧ください。

### ■ iGrafx 2006 をお使いのお客様

SOX+の最新版（Ver.5）は、iGrafx 2006にはインストールできません。

必ずiGrafx2011へアップグレードしてからSOX+をアップグレードしてください。

### 【カスタマイズデータフォルダ】

Ver.3より、配布ファイル作成時に指定する配布ファイルの取り込み位置が「共有」「ユーザー毎」の2種類になりました。

Ver.2での「Install Folder」が「共有」、「User Folder」が「ユーザー毎」に該当します。

配布先に「All Users Folder」を使用されており、その設定を引き継ぎたい場合は、SOX+インストール時に「カスタマイズデータフォルダ」を「All Users Folder」(C:¥Documents and Settings¥All Users)に変更してください。

「カスタマイズデータフォルダ」については、前頁のインストール手順8をご覧ください。

配布ファイルと取込の詳細については、『SoxPlusAdministratorKitユーザーズガイド』をご覧ください。

### ■ iGrafx 2007,2009 をお使いのお客様

SOX+の最新版（Ver.5）は、iGrafx 2007,iGrafx 2009 にもインストールできますが、iGrafx2011 へアップグレードしてお使いいただくことを推奨いたします。

## ◆ カスタマイズツールのインストール

AdministratorKitのインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

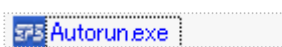
- SOX+追加インストールディスク CD-ROM（黄色のラベルのCD-ROM）
- AdministratorKitのライセンスキーが記載された黄色のライセンス証書  
「Admin License Key」として 16桁 のキーが記載されています。

※AdministratorKitのインストールにはSOX+がインストールされている必要はありません。

ただし実用上からはSOX+がインストールされているPC にインストールされることをお勧めします。

### ① AdministratorKitを新規インストールする

1. PCに「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM をセットし、「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されるまで少し待ちます。



画面が表示されない場合は、[マイ コンピュータ]のCD-ROMドライブを右クリックし、「自動再生(P)」コマンドを実行するか、「開く(O)」コマンドでフォルダを開いて「Autorun.exe」を実行してください。

2. 「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されたら、以下のようを選択します。

#### Step1. インストールを行う SOX+製品のバージョンを選択してください。

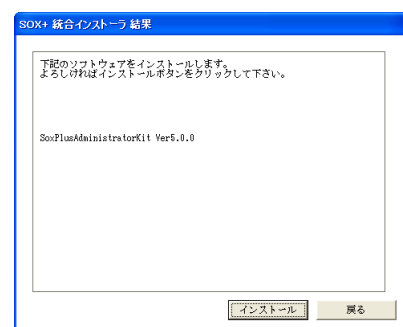
⇒ここでは、インストールを行うSOX+製品のバージョンを選択します。「X.X.X（最新バージョン）」を選択してください。

#### Step2. インストールするソフトウェアを選択してください。

⇒「SOX+ カスタマイズツール」の「SoxPlusAdministratorKit Ver5.0.0」にチェックを入れます。

選択を終えたら、画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

3. 「SOX+ 統合インストーラ 結果」画面が表示されます。  
インストール対象になっているアプリケーション名を確認し、「インストール」をクリックします。



4. **Microsoft .NET Framework 1.1** がインストールされていない場合は、画面の指示に従って、「Microsoft .NET Framework」をインストールしてください。

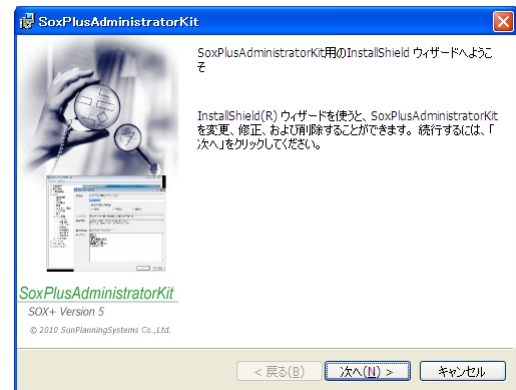


※既に.NET Frameworkがインストールされていてもインストールするよう指示されることがありますが、これはMicrosoft .NET Framework インストーラの仕様です。問題がなければそのままMicrosoft .NET Framework のインストールを実行してください。

(Microsoft .NET Framework のインストールは、環境によっては長くなる場合があります。)

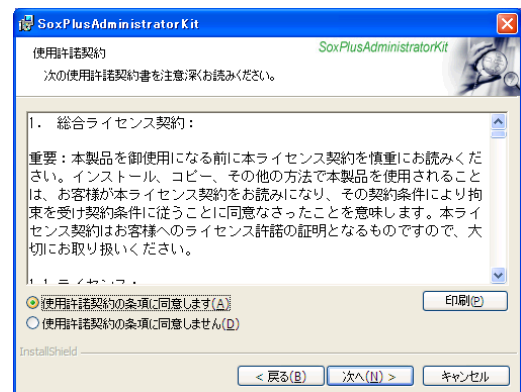
5. SoxPlusAdministratorKitのインストーラ  
「SoxPlusAdministratorKit」が起動します。

「次へ(N)」をクリックします。



6. 「使用許諾契約」ページが表示されます。  
ここでは、本製品についての(株)サン・プランニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

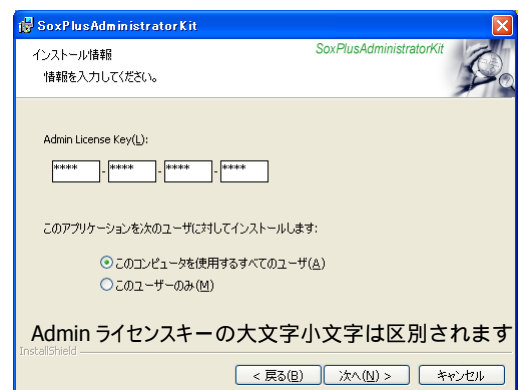
契約の文章を最後までご覧頂いた上で  
「使用許諾契約の条項に同意します(A)」のボタンにチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。  
(総合ライセンス契約のテキストは、CD内にも納められています)



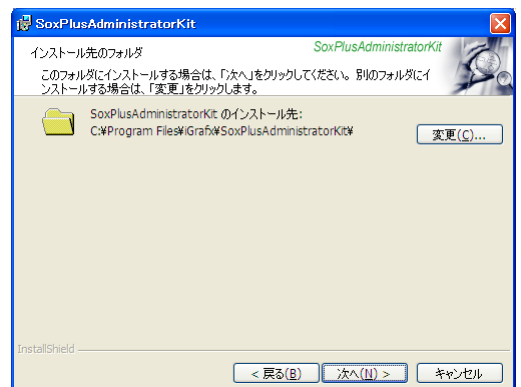
7. 「インストール情報」ページが表示されます。  
ここでは、お手元のSOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー  
(16文字)を入力してください。

ライセンスキーは、対応するバージョンの  
ライセンス証書「iGrafX Licensing Certificate」\*の  
「Admin License Key」の行に記載されています。  
\* Product Description: SOX+ Licenseと記述されている証書で  
す

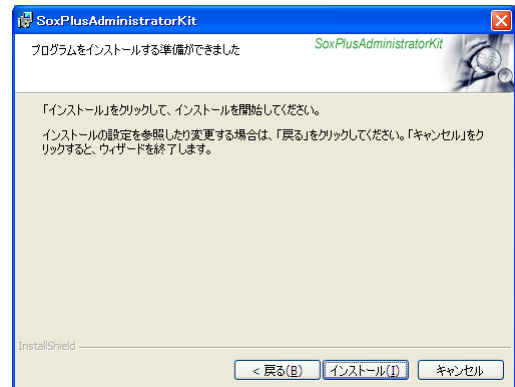
入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。



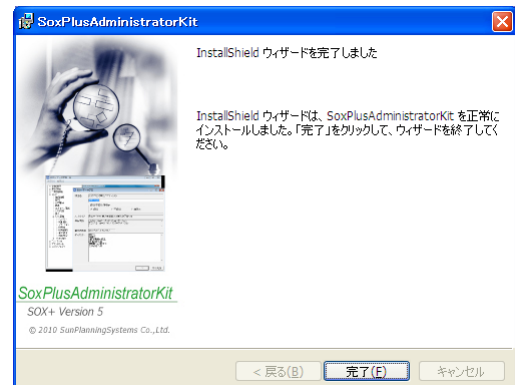
8. 「インストール先のフォルダ」ページが表示されます。  
ここでは、アプリケーションのインストール先を指定できます。  
必要に応じて変更し、「次へ(N)」をクリックします。



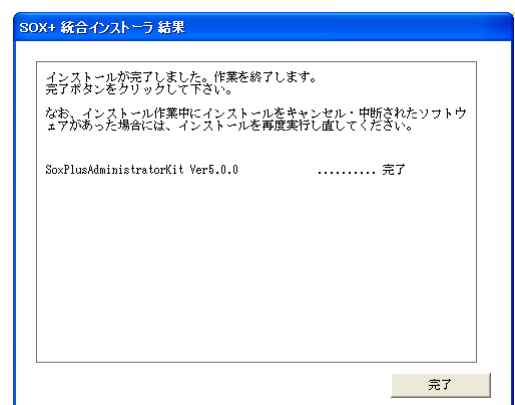
9. 「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されたら、「インストール(I)」をクリックしてください。  
インストールが開始されます。



10. 「インストールの完了」画面が表示されます。  
「完了(F)」をクリックしてください。



11. 「SOX+統合インストーラ結果」画面が表示されます。  
「完了」をクリックしてインストーラを終了します。



12. Windowsの「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」「iGrafX」の順にポイントします。「SoxPlusAdministratorKit」を選択し、ソフトウェアが起動することを確認します。

## ② AdministratorKitをアップグレードする

AdministratorKitをアップグレードするには、下記の手順に従って、旧バージョンをアンインストールしてから新しいバージョンのAdministratorKitをインストールしてください。

また、アップグレードを行うとこれまでのデータは消えてしまいますので、アップグレードの前には必ず「配布ファイル作成」を行っておくなどして、これまでの設定内容を配布ファイルに保存しておいてください。

AdministratorKitのアップグレードには、Ver.5 のライセンスキーが必要です。旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

- AdministratorKit をアンインストールする前に、これまでお使いの配布ファイルを確認してください。最新の配布ファイルが無い場合は、AdministratorKitを起動し、「配布ファイル作成」を行って最新の配布ファイルを作成しておきます。  
※配布ファイル作成時にこれまで指定していた「取込位置指定」も確認し、メモなどをしておきます。
- AdministratorKit をアンインストールし、インストールフォルダ（標準では“C:\¥Program Files¥iGrafX”）に“SoxPlusAdministratorKit”フォルダが残っていないかどうか確認します。  
残っていた場合は、フォルダごと削除します。

3. AdministratorKitを手順に従って新規インストールします。詳細は「①AdministratorKitを新規インストールする」をご覧ください。
4. 配布ファイルをアップグレードします。詳細は、『SOX+アップグレードガイド』および『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ◆ インストールの注意点

インストール中、個別のソフトウェアのインストール画面が統合インストーラの画面の下に隠れてしまう場合があります。画面が長時間変化しない場合は、Windowsのタスクバーから作業中のインストール画面を確認してください。

### ◆ SOX+ 整備/運用評価オプション

SOX+整備/運用評価オプションをご利用頂くには、SOX+のインストール後に、評価オプションライセンスキーの登録が必要です。詳細は、『SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド』をご覧ください。

既にSOX+整備/運用評価オプションをご利用いただいております、Ver.5 へアップグレードされるお客様は、『整備/運用評価オプション アップグレードガイド』をご覧ください。

### ◆ SOX+のアンインストール

SOX+をアンインストールする場合は、コントロールパネルの「プログラムの変更と削除」から「SOX+」を選択し、アンインストールを行ってください。

## 多言語版 SOX+ご利用ガイド

# SOX+

SOX+のVer.3.2以降では、OSの言語設定によってインストール後に使用できる言語が異なる場合があります。以下の注意点を良くご確認の上、ご利用ください。

### ◆ SOX+のインストール言語

#### ① OSの標準言語が日本語の場合

1. iGrafx製品、SOX+関連製品ともに、インストール時には日本語のインストーラが起動します。
2. iGrafxの標準インストールでは日本語と英語の二ヶ国語がインストールされます。  
※日本語OS上で中国語版もご使用になりたい場合は、iGrafx FlowCharter のインストール時に「カスタムインストール」を選択し、中国語言語セットの追加を行ってください。
3. SOX+は、iGrafxの言語セットに関わらず、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされます。

使用言語を切り替えたい時は、iGrafxの「ツール」メニューの「オプション」コマンドで「オプションダイアログ」を開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafxを再起動します。

iGrafxの「アプリケーション言語」の設定に合わせて、SOX+の使用言語も切り替わります。

iGrafxの言語セットは、後から追加インストールすることもできます。

#### ② OSの標準言語が英語・中国語の場合

1. OSの言語が英語の場合は、iGrafx製品・SOX+ともに英語表示のインストーラが起動します。  
OSの言語が中国語の場合は、iGrafx製品は中国語表示、SOX+は英語表示のインストーラが起動します。
2. 英語OS上では、iGrafxの標準インストールでは英語のみがインストールされます。  
※英語OS上で日本語・中国語をご使用になる場合は、iGrafx FlowCharterのインストール時に「カスタムインストール」を選択し、使用したい言語セットの追加を行ってください。
3. 中国語OS上では、iGrafxの標準インストールでは中国語と英語がインストールされます。  
※中国語OS上で日本語をご使用になる場合は、iGrafx FlowCharterのインストール時に「カスタムインストール」を選択し、使用したい言語セットの追加を行ってください。後から追加インストールすることもできます。  
※※ただし、中国語OS上でのSOX+日本語版の動作は原則として保証しておりません。
4. SOX+は、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされます。

使用言語を切り替えたい時は、iGrafxの「ツール」メニューの「オプション」コマンドで「オプションダイアログ」を開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafxを再起動します。

※日本語OS以外で日本語版を利用すると、環境によってダイアログのタイトルなどに文字化けが発生する場合があります。

※ 英語・中国語版の簡単インストールガイドは、SOX+追加インストールディスク内にあります。

### ◆ SOX+5 サーバー連携機能について

SOX+ 5 サーバー連携機能は、日本語版限定の機能となっております。  
英語版・中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなれません。

### ◆ SOX+ 整備/運用評価オプションについて

SOX+ 整備/運用評価オプションは、日本語版限定の機能となっております。  
英語版・中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなれません。

### ◆ AdministratorKit について

各言語版の Microsoft Excel の互換性には制約があるため、英語版や中国語版Excelで使用するRCMテンプレートの編集・保存は、同じ言語版のExcelで行う必要があります。

海外向けの配布ファイルを作成される場合は、対象言語のOSとExcelがインストールされたPCをお手元にご用意ください。  
インストーラが自動的に対応した言語版のAdministratorKitをインストールします。

AdministratorKit英語版・中国語版の基本操作は、日本語版と同一です。  
(日本語版とそれ以外では一部機能にのみ差異があります)

なお、AdministratorKitは、海外向けの配布ファイルの作成であっても日本国内で使用されることが多いため、ユーザーズガイドは国内の事務局様向けに日本語版を作成しております。

### ◆ 中国語版をご利用の際に

SOX+ 3.2統合版以降では、SOX+用の図形集(SOX+内部統制コレクション)の図形のフォントは、MS UI Gothicが指定されています。

MS UI Gothicは中国語の全ての文字には対応していないため、中国語を入力すると、表示できる文字はそのままMS UI Gothicで表示されますが、表示できない文字は宋体(Simsun)で補完されて表示されます。

このため、SOX+図形のテキストや、弊社で提供しているサンプルフローチャートに入力されている文字では、画面や印刷でフォントが混在した状態になる場合があります。

中国語版をご利用の際は、図形のフォントは中国語の全ての文字を表示可能なフォントに変更してご利用ください。

ご利用になる図形は、いったんSOX+内部統制コレクションから個人用メディアコレクションにコピーすれば、宋体等のフォントに変更してお使い頂くことができます。

## 旧バージョンから移行する

### ➤ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- ・ SOX+ アップグレードガイド ..... P25

Ver.2 や Ver.3 から SOX+をアップグレードする際にお読み下さい。

### ➤ SOX+ 5.0 の新機能を利用する

- ・ SOX+ 新機能概要 ..... P29

SOX+ Ver.5.0 の新機能をご利用される場合にお読み下さい。

### ➤ SOX+ の新機能を確認する

- ・ SOX+バージョンアップ履歴 ..... P31

SOX+ Ver.3.0 以降で加えられた新機能や変更点の一覧です。



## ◆ はじめに

iGrafX FlowCharter SOX+ をご愛顧いただきありがとうございます。

本資料は、iGrafX FlowCharter SOX+の最新バージョンへ、Ver.2 (iGrafX 2006)、Ver.3 (iGrafX 2007)、Ver.4 (iGrafX 2009)からアップグレードされる際の、それぞれの手順と注意点について説明しております。

これまで作成された内部統制文書をそのままご利用いただくために、アップグレードの際は、必ず本資料の手順に沿って設定の移行を行ってください。

## ◆ アプリケーションのアップグレードと準備

iGrafX製品およびSOX関連製品のアプリケーションのアップグレード(インストール)手順については、それぞれ『iGrafX インストールガイド』および『SOX+詳細インストールガイド』を参照してください。

SOX+をアップグレードした場合は、それまでの配布ファイルは使用できません。

AdministratorKit (Ver.2では「管理者キット」)をお使いの方は、配布ファイルの設定を引き継ぐことができるように、必ずそれまでに作成した配布ファイルを保存しておいてください。

また、これまで作成したドキュメントをアップグレード後に開いて編集する時は、万が一のことを避けるため、必ずドキュメントのバックアップをとってから行うようにしてください。

## ◆ SOX+Ver.3 (iGrafX 2007)、SOX+Ver.4 (iGrafX 2009)からVer.5 へアップグレードする場合

## ① 配布ファイルのアップグレード

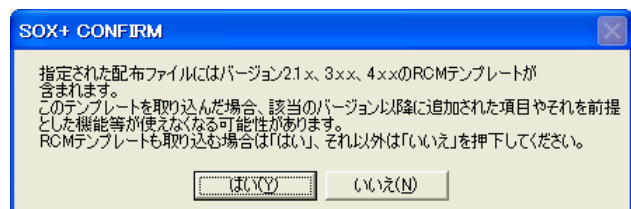
※整備/運用評価オプションをお使いの場合は、『整備/運用評価オプション アップグレードガイド』も併せてご覧ください。

- AdministratorKitのアップグレード後に、「SoxPlusAdministratorKit」を起動します。
- 「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンから、保存済みの配布ファイルを指定して読み込みます。
- 「RCMテンプレート」を引き継ぐかどうかの確認メッセージが表示されます。

Ver.4 から Ver.5 でのRCMテンプレートの変更はございません。

## ◆ Ver.4 からアップグレードする場合

これまでのRCMテンプレートを引き継ぎますので、「はい」を選択してください。



## ◆ Ver.3 からアップグレードする場合

Ver.4 以降で追加された項目を使用したい場合や、新しい項目に関する新機能を利用したい場合は、「いいえ」を選択し、新しいRCMテンプレートを使用します。

これまでのRCMテンプレートを使用する場合は、「はい」を選択してください。

これまでのRCMテンプレートを引き継いだ場合、新しいバージョンで追加された項目や、それに関連する機能は使用できません。

- AdministratorKitを使用して、新しいRCMテンプレートの編集や、他の項目の設定を行います。

5. 新しいバージョンのSOX+用に配布ファイルを作成し、ユーザーに配布します。

新項目・新機能に対応した設定とその変更については、『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ◆ SOX+Ver.2 (iGrafx 2006)からVer.5へアップグレードする場合

### ① ドキュメントの互換性について

SOX+Ver.2で使用されていたSOX+図形のナンバー表示形式は、Ver.3以降で大きく変更されています。

そのため、Ver.2(iGrafx 2006)で作成されたドキュメントを、Ver.3以降のSOX+がインストールされたiGrafxで開くと、SOX+が自動的に新形式へのコンバートを行います。

いったん新しい図形ナンバー表示形式にコンバートされたドキュメントを、Ver.2(iGrafx 2006)で開いて編集すると、旧形式のナンバー表示が再度追加されて、ナンバーが二重表示になってしまう危険があります。



そのため、Ver.2(iGrafx 2006)と新しいバージョンのSOX+の併用は原則として避け、可能な限り全てのPCを一斉にアップグレードしてください。

また、アップグレード後のドキュメントの編集は、念のためバックアップを取ってから行うようにしてください。

### ② コンバート処理

Ver.2(iGrafx 2006)で作成されたドキュメントは、Ver.3以降のSOX+がインストールされたiGrafxで初めて開いた時に、自動的に新しい形式にコンバートされます。

大きな図表や、子部門やフェーズが多用されている図表では、通常よりコンバートに時間がかかることがあります。過去に作成したドキュメントを開く際には、他のアプリケーションを終了するなどして、PCの処理能力に若干の余裕を持たせるように注意してください。

一度新しいバージョンで保存されたドキュメントについては、再度コンバートが行われることはありません。

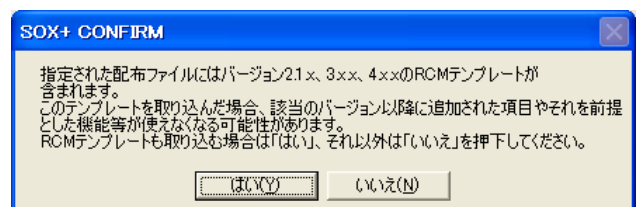
### ③ Ver.2の設定の移行(新機能・新項目を使用する)

Ver.3以降では、Ver.2に比較して、多くの機能拡張がされたほか、項目やデータリスト、RCMなど多くの設定項目の追加や変更がされています。

新しいバージョンの項目や機能を使用する場合は、Ver.2の配布ファイルからは「データリスト」だけを引き継ぎます。(「RCMテンプレート」を引き継ぐと、新しい項目およびそれに関連する機能が使用できません。)

1. AdministratorKitのアップグレード後に、「SoxPlusAdministratorKit」を起動します。
2. 「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンから、保管していたVer.2の配布ファイルを指定して読み込みます。
3. 「RCMテンプレート」を引き継ぐかどうかの確認メッセージが表示されます。

新しいバージョンで追加された項目を使用したい場合や、新しい項目に関する新機能を利用したい場合は、ここで「いいえ」を選んで、新しいRCMテンプレートを使用してください。



これまでのRCMテンプレートのままで問題がなければ、「はい」を選んでください。

これまでのRCMテンプレートをそのまま引き継いだ場合、新しいバージョンで追加された項目や、それに関連する機能は使用できません。

4. AdministratorKitを使用して、新しいRCMテンプレートの編集や、他の項目の設定を行います。
5. 新しいバージョンのSOX+用に配布ファイルを作成し、ユーザーに配布します。

新項目・新機能に対応した設定とその変更については、『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』をご覧ください。

#### ④ Ver.2の設定の移行(新バージョンの設定をこれまでの設定に合わせる)

Ver.2とVer.3以降では、項目名など多くの点が変更されていますが、AdministratorKitを使って設定を変更することで、ほぼ全て旧バージョンと同じ設定にすることができます。弊社サポートページからダウンロードできる「互換用配布ファイル」は、Ver.3以降の新しい設定を、簡単にVer.2と同様の状態にする配布ファイルです。

##### 【Ver. 2.1をお使いの場合】

1. 弊社サポートページから、Ver.2.1対応の「互換用配布ファイル」をダウンロードします。  
<http://www.sunplanning.co.jp/product/igrafx/support/>
2. Windowsの「スタート」メニューから、「SoxPlusAdministratorKit」を選択し、ソフトウェアを起動します。
3. 「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンから、ダウンロードした「互換用配布ファイル」を指定して読み込みます。読み込むと、AdministratorKit の設定が指定したバージョンに準じた設定に変わります。
4. 続けて、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンから、これまでに使用していたVer.2.1の配布ファイルを指定して読み込みます。

読み込みの際には、Ver.2.1で使用していたRCMテンプレートをそのまま使用するか確認されます。

⇒【Ver.3以降の追加項目を使用する必要がない場合】

「OK」を押し、Ver.2.1で使用していたRCMテンプレートをそのまま引き継いで使用してください。

⇒【Ver.3以降の追加項目を使用したい場合】

「キャンセル」を押し、Ver.2.1のRCMテンプレートは引き継がず、標準のRCMテンプレートを編集して使います。

5. 図形プレフィックスの設定は反映されませんので、これまでに図形ナンバーの文字を変更していた場合は [図形ナンバー設定]で再度設定します。
6. 新しいバージョンのSOX+用に配布ファイルを作成し、ユーザーに配布します。

##### 【Ver. 2.0.4をお使いの場合】

基本的の上と同じですが、Ver.2.0.4のRCMテンプレート(SOxMatrix.xls)は、新しいバージョンに引き継ぐことができません。RCMテンプレートは作り直しが必要です。

##### 【配布ファイルを使用していない場合】

1. 弊社サポートページから、Ver.2.1対応の「互換用配布ファイル」をダウンロードします。  
<http://www.sunplanning.co.jp/product/igrafx/support/>
2. ダウンロードした配布ファイルを各ユーザーに配布し、SOX+に取り込んでください。

旧バージョンとほぼ同様に動作するようになりますので、これまで作成したドキュメントをそのまま取り扱うことができます。  
※配布ファイルの取込については、『SOX+ ユーザーズガイド』の「配布ファイルの取込機能」の章をご覧ください。

「互換用配布ファイル」では、新しいバージョンで追加された項目は基本的に不使用にしています。追加したい項目・機能がある場合は、互換用配布ファイルを SoxPlusAdministratorKitに読み込んで設定を変更してください。

## ⑤ 配布ファイルを読み込んで更新される設定の一覧

以下の表は、Ver.5のAdministratorKitに、以前のバージョンの配布ファイルを読み込んで更新される設定の一覧です。  
「◎」の項目は、読み込むことで変更されます。

設定		igs ファイル	Ver.3 以降	互換配布ファイル	Ver.2
項目名・データリスト	データリスト		◎	◎2.1 互換	◎これまでのリスト
	項目名		◎	◎2.1 互換	
	使用/不使用/非表示		◎	◎2.1 互換	
RCM テンプレート			◎	◎(※)	◎これまでの RCM の取込を選択可能
図形設定	IT 業務記述		◎	使用可	
	IT コントロール		◎	使用可	
	ナンバープレフィックス		◎	◎2.1.1 標準	
	ターゲットリスク属性		◎	◎使用不使用選択	

(※)RCMテンプレートのタイプは、「互換配布ファイル」の種類によって内容が異なります。

- Ver.2の配布ファイルから、AdministratorKit に読み込める設定は以下です。
  - [データ定義]で設定した[データリスト] (プルダウンメニューやチェックボックスのリストなど)
  - 2.1 の RCMテンプレート (SoxMatrix.xls) \*引き継ぐかどうか選択が出ます
- Ver.2の配布ファイルから読み込めない設定は以下です。
  - [項目名・データリストの変更]で追加された、[項目名]、[使用／不使用／非表示]の設定
  - [図形設定]で設定した、ターゲットリスク属性の使用／不使用の切り替え
  - [図形設定]で設定した、図形ナンバーのプレフィックス設定(S・R・C・IC以外を設定していた場合)
- Ver.2.1対応の互換用配布ファイルを読み込むと、以下の設定がVer.2.1標準と同じとなります。
  - [項目名・データリストの変更]の[項目名]、[使用／不使用／非表示]、[データリスト]の設定
  - Ver.2.1の標準のRCMテンプレート(SOxMatrix.xls) と同形式の新バージョン対応 SOxMatrix.xls
  - ターゲットリスク属性対応版の場合は、コントロール属性・ターゲットリスク属性タブの各項目の使用／不使用設定

互換用配布ファイルを取り込まずに、Ver.2の配布ファイルをそのままAdministratorKitに読み込んだ場合は、新バージョンのデフォルトから、データリストとRCMテンプレートだけが更新された状態になります。

## ⑥ iGrafXテンプレート / コレクションのアップデート

iGrafXテンプレートは、一度iGrafX 2011で開いてからテンプレートとして保存し直してください。

そのほかの新機能に対応した図形やテンプレートの設定、変更については、『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ◆ はじめに

本資料は、SOX+の最新バージョン5の新機能についての概要をご説明しています。

iGrafX Process Central 及び SOX+ Server Edition を利用する場合には、インストールと同時に導入される『SOX+5 サーバー連携機能ガイド』をご覧ください。

## ◆ 新機能について

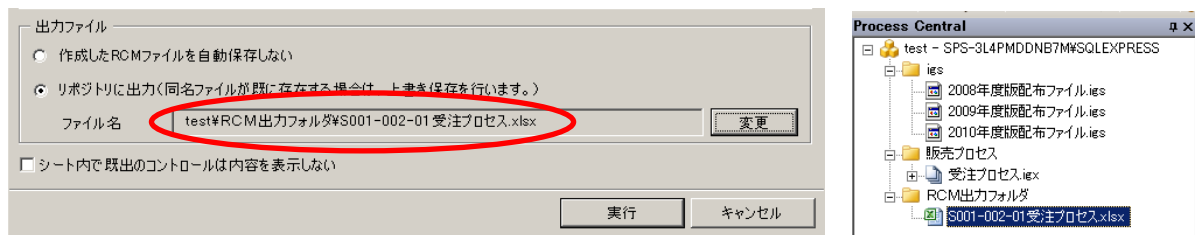
## ① RCM出力で利用する Microsoft Office への対応

- ・Microsoft Office Excel 2010に対応
- ・Microsoft Office Excel 2007、2010のファイル形式「xlsx」でのRCM出力・一括取込に対応

## ② iGrafX PROCESS CENTRAL との連携強化

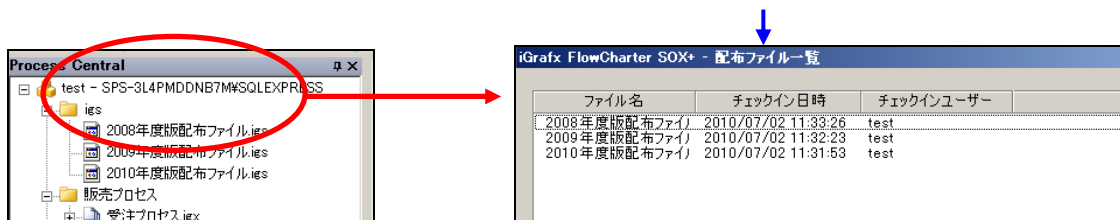
## ◆ iGrafX Process Central リポジトリへの RCM 直接出力機能

RCM を iGrafX Process Central のリポジトリに直接、出力できるようになりました。また iGrafX Process Central のファイル管理機能による RCM の履歴管理・アクセス管理が可能になります。



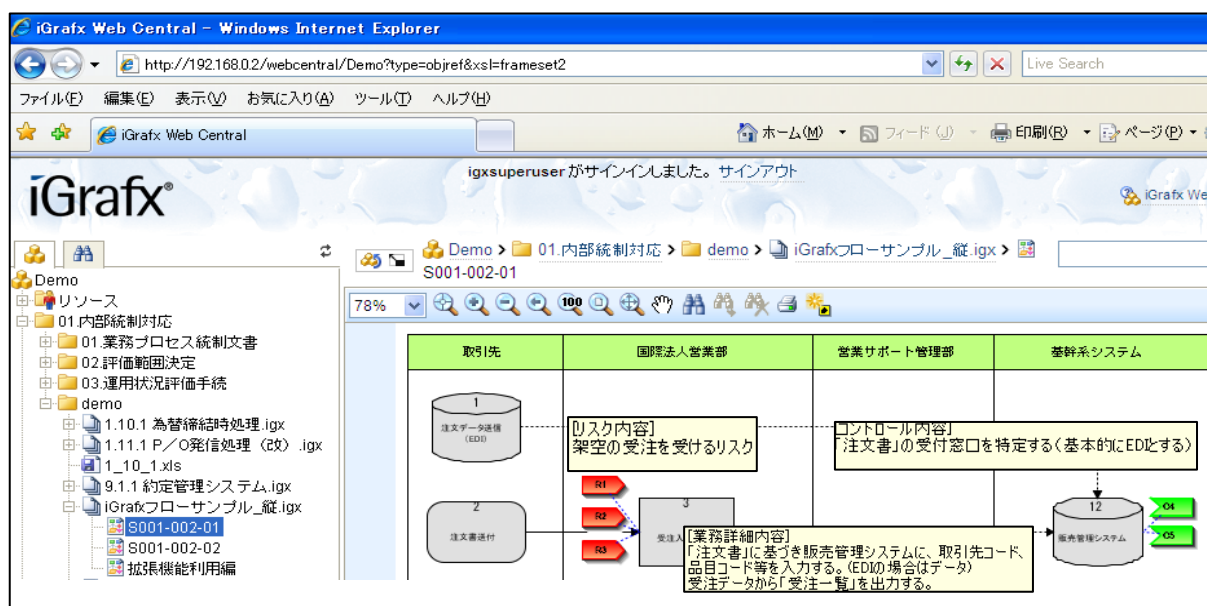
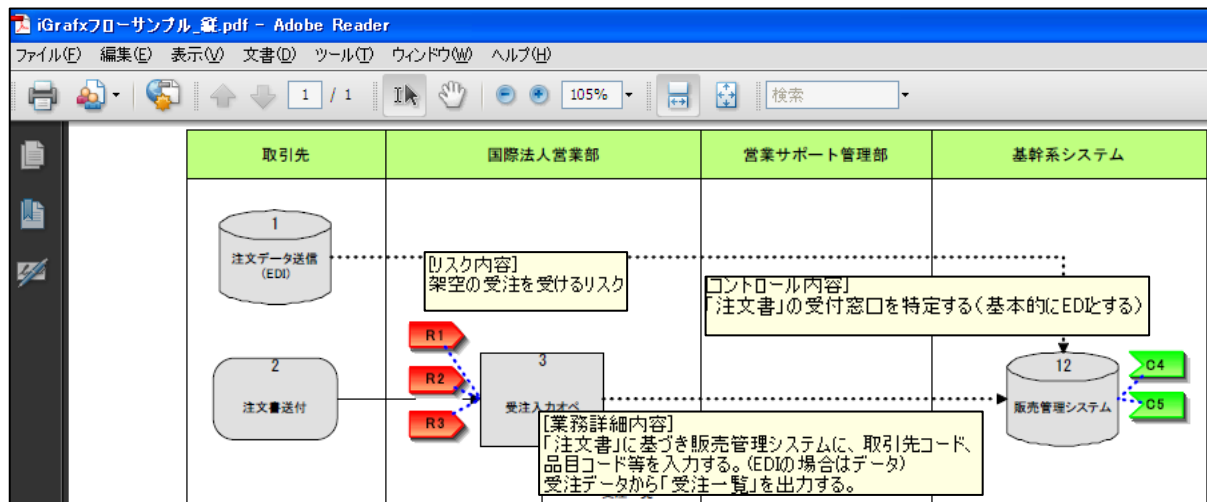
## ◆ 配布ファイル登録による複数配布ファイルの管理・切替機能の追加

AdministratorKitで作成した配布ファイルをiGrafX Process Centralのリポジトリに登録し、そこから配布ファイルの取り込みができるようになりました。リポジトリに登録することにより配布ファイルの管理がしやすくなり、用途ごとに作成した配布ファイルを簡単に切り替えて使用することができます。 配布ファイルの取込時に表示される一覧



## ◆ SOX+情報のメモ表示

業務詳細図形、リスク、コントロールの各種図形に入力された[内容]をメモへ自動更新できるようになりました。メモに登録された内容は、それぞれ該当の図形上にカーソルをあてると内容がポップアップ表示されます。これにより、ダイアログ表示機能を持たない他ファイル形式に出力された図表（WEB ページ出力、PDF 出力、及び WEB Central）においても、業務詳細内容をポップアップ表示で確認できるようになりました。



## ◆ SOX+ Ver. 3.0～5.0の新機能・主な変更点

## ① 総合

## 3.0

- ✓ Windows VISTA対応 / Office2007(Excel 2007)対応 (xls形式のみサポート)
- ✓ 英語版 標準追加 (日本語版と切り替えて使用可能)
- ✓ PDFファイル簡易出力機能対応
- ✓ インストール時に[共有]配布ファイルのデータ保存先を指定

## 3.0.1

- ✓ 整備状況評価オプション機能の追加 (有償オプション)

## 3.1

- ✓ 整備状況評価オプションの出力帳票に、交差タイプのRCM(「RC関連表」)を追加

## 3.2

- ✓ 中国語版の追加 (日本語版と切り替えて使用可能) ※iGrafX 12.2.0.968以降

## 3.3

- ✓ 整備/運用評価オプションの追加 (整備状況評価オプションに運用状況の評価機能を追加)

## 4.0

- ✓ Windows 7対応
- ✓ リスクカテゴリーの追加
- ✓ 整備/運用評価オプションの機能強化(不備対応、CSA、最終評価の追加、シート機能の強化)

## 5.0

- ✓ **Office2010 (Excel 2010)対応**
- ✓ **配布ファイル登録による複数配布ファイルの管理・切替機能の追加 (SOX+ Server Edition)**

## ② 項目追加・変更

## 3.0

- ✓ 文書情報に「関係文書」タブを追加
- ✓ 業務詳細に「勘定科目」欄、「追加部門」欄、業務実施者のリストに「他担当者」、「他責任者」を追加
- ✓ リスクに「分類番号」欄、「リスク辞書」ボタンを追加

## 4.0

- ✓ リスクに「カテゴリー」欄を追加

## ③ 図形機能の追加・強化

## 3.0

- ✓ 図形の置換時、「すべてのプロパティを置換」した場合でもSOX+のデータはそのまま残すよう対応
- ✓ SOX+図形のナンバー表示を、テキストから表示位置を自由に変えられるフィールド表示に変更
- ✓ 図形の追加 (業務詳細に添付して規定文書や使用帳票、業務詳細内容の内容を画面表示させる図形や、

業務やリスク・コントロールの内容を画面上に一覧表示させる図形などの追加)

- ✓ 使用帳票、規定文書、勘定科目、業務実施者、追加部門の内容の図形フィールド表示に対応

4.0

- ✓ キーコントロールを指定した時、図形の下部に"Key"と表示される機能を追加

5.0

- ✓ **SOX+情報のメモ表示**

#### ④ ダイアログ機能追加・改善

3.0

- ✓ メニュー順序変更、[表示情報の更新]メニュー追加、常時SOX+メニューを表示
- ✓ [リスク一覧画面] リスクをターゲットとしている(フロー内の)コントロール数の表示
- ✓ [コントロール一覧画面] 各コントロールのターゲットリスク数の表示
- ✓ 各詳細画面の入力欄の入力可能文字数の増加、1000文字を超える入力欄に「拡大」ボタンを追加
- ✓ リスクに対応するコントロールの一覧画面を表示する「コントロール確認」ボタン追加
- ✓ その他入力仕様の改善

#### ⑤ 整合性チェックの強化

3.0

- ✓ 統制されていないリスクをチェック対象に追加
- ✓ 全てのリスクアサーションに対応するコントロールアサーションが存在するかをチェック対象に追加

3.1

- ✓ 文書識別の重複をチェック対象に追加

#### ⑥ RCM出力・取込機能の強化

3.0

- ✓ RCM出力の高速化
- ✓ シート名「業務記述書(表紙)」を「文書情報」に変更
- ✓ アサーション等のチェック記号を「×」から「○」に変更
- ✓ 一括取込時、取込元と取込先の突合チェック対象を[文書識別]のみに変更
- ✓ 一括取込時、「業務記述書(表紙)」/「文書情報」シートの内容も取り込み対象に追加
- ✓ 一括取込時、シート上で指定された名前の図形で新規図形を追加
- ✓ 一括取込時、リスクとコントロールの紐付き情報は変更せずに取り込むオプションを追加

3.0

- ✓ RCM出力時に関係文書が全て開かれていない場合に警告

4.0

- ✓ 出力対象リスクの抽出条件を指定できる機能の追加
- ✓ RCM圧縮機能(複数回登場するコントロールの省略(詳細の非表示)を選択できる機能)を追加

5.0

- ✓ **Process Central** リポジットリへのRCM直接出力機能の追加 (SOX+ Server Edition)

## 整備/運用評価オプションをご利用の場合

### ➤ 整備/運用評価オプションを導入する

- ・ SOX+整備/運用評価オプションスタートガイド ..... P35

SOX+整備/運用評価オプションを使用する場合にお読み下さい。

### ➤ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

- ・ SOX+整備 / 運用評価オプションアップグレードガイド ..... P37

DesignTest もしくは SOX+整備/運用評価オプションをすでにご利用中の場合は  
お読み下さい。



## SOX+整備/運用評価 オプション スタートガイド

# SOX+

### ◆ SOX+ 整備/運用評価オプションのご利用開始のために

この度は **iGrafX® FlowCharter™ SOX+™** **SOX+整備/運用評価オプション**(以下、**整備/運用評価オプション**と略称)をご購入頂きましてありがとうございます。

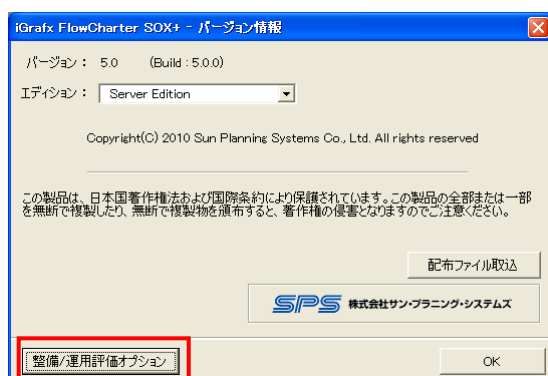
**整備/運用評価オプション**は、**iGrafX FlowCharter SOX+**に組み込まれたオプション機能として提供される製品です。そのため、**整備/運用評価オプション**自体のインストールの必要はございません。

ご利用の際は、**iGrafX FlowCharter SOX+**のメニューを開いて**整備/運用評価オプション**ライセンスキーを登録してください。SOX+の再起動後に、**整備/運用評価オプション**の追加機能がご利用いただけるようになります。

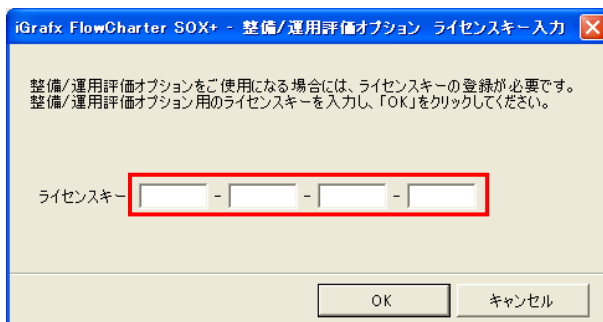
なお、SoxPlusAdministratorKitを使用して**整備/運用評価オプション**の設定のカスタマイズを行われる場合は、**整備/運用評価オプション**ライセンスキーをSoxPlusAdministratorKitにも登録し、**整備/運用評価オプション**機能のカスタマイズを有効にしてください。

### ① iGrafX FlowCharter SOX+に整備/運用評価オプションライセンスキーを登録する

1. iGrafX FlowCharter SOX+の[SOX+]メニューの[SOX+のバージョン情報]から[バージョン情報]ダイアログを開きます。

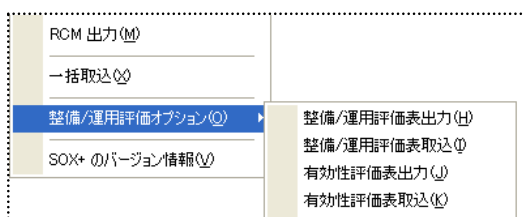


2. [整備/運用評価オプション]ボタンをクリックし、[ライセンスキー入力]ダイアログを開きます。



3. 『整備/運用評価オプション License証書』に記載のライセンスキーを登録します。(半角大文字で16文字)

4. [OK]ボタンでダイアログを閉じて、iGrafX FlowCharter SOX+を終了させてからもう一度起動します。OSの再起動は必要ありません。

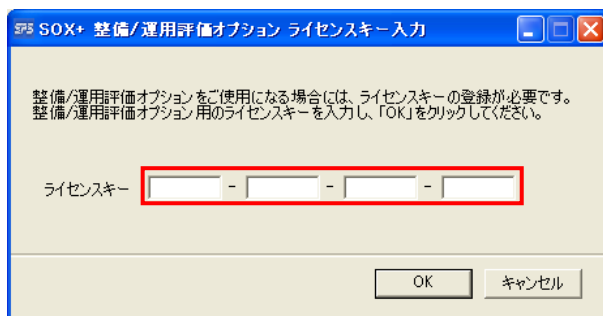
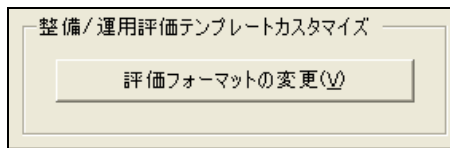


5. 起動したら、[SOX+]メニューに[整備/運用評価オプション]メニューが追加されているのをご確認ください。

※ **整備/運用評価オプション**の使用方法や機能の詳細は、[スタートメニュー]－[すべてのプログラム]－[iGrafX]にインストールされている『**SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド**』をご覧ください。

## ② SoxPlusAdministratorKitにライセンスキーを登録する

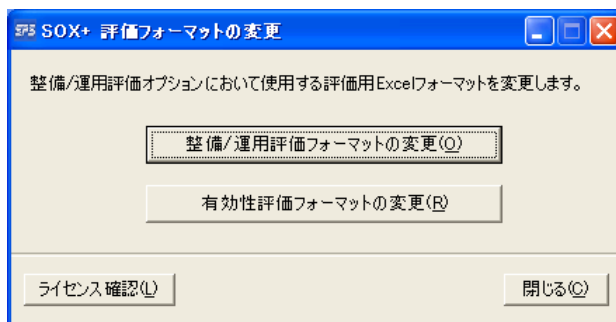
1. SoxPlusAdministratorKit を起動して、メインメニューの左下にある[整備/運用評価テンプレートカスタマイズ]の[評価フォーマットの変更]ボタンをクリックし、[整備/運用評価オプション ライセンスキー入力]ダイアログを開きます。



2. 『整備/運用評価オプション License証書』に記載のライセンスキー(半角大文字で16文字)を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

3. ライセンスキーが正しく入力されていれば、[有効なライセンスキーが入力されました。整備/運用評価オプションの機能が使用可能になります。]というメッセージが表示されます。

再度[評価フォーマットの変更]ボタンをクリックし、下記のように[SOX+ 評価フォーマットの変更]ダイアログが表示されることを確認してください。



※左記の[整備/運用評価フォーマットの変更][有効性評価フォーマットの変更]で、整備/運用評価オプションで追加される評価表テンプレートのカスタマイズを行うことができます。

項目名・データリストの変更機能は、既存の[項目名・データリストの変更]機能に追加されます。

カスタマイズの詳細については、『SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ③ SoxPlusAdministratorKitに以前のバージョンの配布ファイルを読み込む

配布ファイルの作成されたバージョンがSOX+ Ver.3.0.1～Ver 4.0の場合、以下のことにご注意ください。

- ◆整備/運用評価オプションライセンスキーを登録後に、AdministratorKitの[既存配布ファイル定義データの読込]ボタンからSOX+ Ver.3.0.1～Ver 4.0の配布ファイルを読み込むと、以前の設定を引き継ぐかどうかの確認のメッセージが(RCMテンプレートについての確認メッセージを挟んで)2回表示されます。評価オプションを新規で使用される方は、いずれも「はい」を選択してください。

※詳細については、『SOX+ 整備/運用評価オプションアップグレードガイド』をご覧ください。

- ◆旧バージョンの配布ファイルを引き継いだ場合、[RC関連表]は非表示に設定されていることがあります。  
[RC関連表]を表示させたい場合は、[RCMフォーマットの変更]-[RCM出力情報の設定]ダイアログで [RC関連表]にチェックを入れてください。

## ◆ SOX+整備/運用評価オプションVer5.0へアップグレードされるユーザー様へ

iGrafX FlowCharter SOX+ をご愛顧頂きましてありがとうございます。

本資料では、DesignTestおよび旧バージョンのSOX+整備/運用評価オプションのユーザー様が、SOX+整備/運用評価オプション(以下、整備/運用評価オプションと略称) Ver5.0にアップグレードされる際の手順と注意点についてご説明いたします。

- ※ SOX Ver5.0 及び AdministratorKit Ver5.0のアップグレード手順については、『SOX+アップグレードガイド』をご覧ください。
- ※ AdministratorKitをアップグレードする前に、旧バージョンの最終版の配布ファイルがあることをご確認ください。最終版の配布ファイルが手元にない場合は、旧バージョンで配布ファイルを作成してからバージョンアップしてください。

### ① SoxPlusAdministratorKitにライセンスキーを登録する

AdministratorKit Ver5.0にアップグレード後、最初に整備/運用評価オプションVer5.0のライセンスキーを登録してください。

[評価フォーマットの変更] ボタンをクリックし、新しいライセンスキーを登録します。

※ 詳細は『SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド』をご覧ください。

これまでのSOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を引き継ぐには、AdministratorKit の機能を使用して、旧バージョンの配布ファイルを読み込み、新バージョンの配布ファイルを作成し直す必要がありますが、整備/運用評価オプションのライセンスキーが登録されていない状態で旧バージョンの配布ファイルの読み込みを行ないますと、旧バージョンの[項目名・データリスト][評価表]はAdministratorKit Ver5.0に読み込まれません。

### ② SOX+整備/運用評価オプションで使用する設定を選択する

#### 1. AdministratorKitを初期化する

AdministratorKit を起動し、[既存配布ファイル定義データの読込] ボタンをクリックします。

[既存配布ファイル定義データの読込] ダイアログが表示されます。[初期設定を読み込む] ボタンをクリックし、設定を初期化します。

#### 2. SOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を読み込む

これまでのSOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)を引き継ぐため、AdministratorKit の[既存配布ファイル定義データの読込] ボタンをクリックし、旧バージョンの配布ファイルを指定して読み込みを実行します。

- ※ 整備/運用評価オプション ライセンスキーの登録前に旧バージョンの配布ファイルの読み込みをされた場合は、上記1. の手順でAdministratorKit の設定を初期化してから再度配布ファイルの読み込みを行なってください。

読込実行時には、DesignTest、旧バージョンの整備/運用評価オプションの設定について、引き継ぐかどうかの確認メッセージが(RCMテンプレートについての確認メッセージを挟んで)2回表示されます。

整備/運用評価オプションのVer5.0での新機能はございません。追加機能があるのはVer4.0までとなっております。

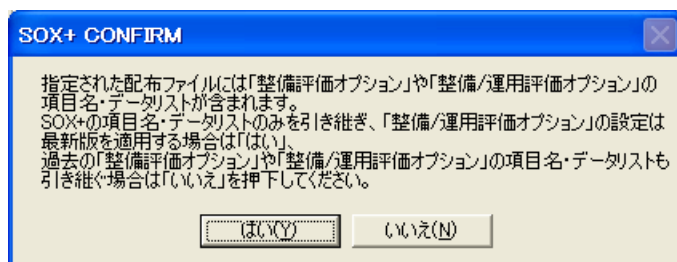
#### ◆Ver.4からバージョンアップされる場合

整備/運用評価オプションのVer5.0での新機能はございませんので、旧バージョンの配布ファイルは、これまでの設定を引き継いでAdministratorKit に読み込みます。これまでの設定を引き継ぐには、2回表示されるメッセージはどちらも「いいえ」を選択してください。

#### ◆Ver.3.0.1～3.3.0 からバージョンアップされる場合

手順3以降に沿って操作を進めてください。

### 3. [項目名・データリスト] についての確認メッセージ



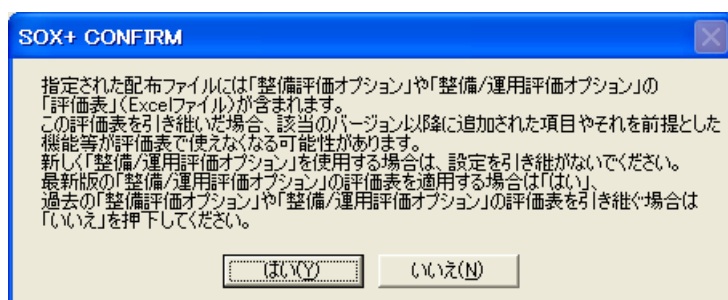
最初に、**DesignTest**、旧バージョンの整備/運用評価オプションの[項目名・データリスト]について、引き継ぐかどうかの確認メッセージが表示されます。

「はい」を選ぶと、整備/運用評価オプションVer5.0の標準の[項目名・データリスト]が適用されます。

「いいえ」を選ぶと、**DesignTest**や旧バージョンの整備/運用評価オプションで使用していた[項目名・データリスト]が引き継がれます。この場合も、整備/運用評価オプションVer4.0で新しく追加されたタブ、項目はそのまま表示されます。

新しく追加されたタブ、項目が必要ない場合は、後述の『③SOX+整備/運用評価オプションとDesignTest の相違点』を参考に、AdministratorKitの[項目名・データリストの変更]から使用・不使用を切り替えてください。

### 4. [評価表(Excelファイル)] についての確認メッセージ



RCMテンプレートについての確認メッセージの次に、今度は**DesignTest**、旧バージョンの整備/運用評価オプションの[評価表]について、引き継ぐかどうかの確認メッセージが表示されます。

#### ・Ver.4.0までに追加された項目・機能は不要の場合

「いいえ」を選びます。

旧バージョンで使用していた[評価表]がそのまま引き継がれ、以前と同様に使用することができます。

ただし、整備/運用評価オプション Ver4.0 で新しく追加された項目は[評価表]にありませんので出力できません。AdministratorKit の[項目名・データリストの変更]から、非表示もしくは不使用にしてください。

新しく追加された項目については、後述の『③SOX+整備/運用評価オプションと DesignTest の相違点』の『2. タブ名称・項目名』を参照してください。

#### ・Ver.4.0 までに追加された項目・機能を使用したい場合

[はい]を選びます。

旧バージョンで使用していた[評価表]は引き継がれず、新しい[評価表]が適用されます。

旧バージョンで[評価表]の書式をカスタマイズしていた場合、AdministratorKitの[評価フォーマットの変更]で[評価表]をふたたび同様の書式に設定し直す必要があります。ご了承ください。

前項で、DesignTestで使用していた[項目名・データリスト]を引き継いでいた場合、整備/運用評価オプション

Ver4.0の新しい[評価表]の項目名とDesignTestの項目名は一部異なるため、どちらかの修正が必要になります。

後述の『③SOX+整備/運用評価オプションとDesignTest の相違点』を参考に、AdministratorKitで[評価表]もしくは[項目名・データリスト]をいずれかの設定に合わせて修正してください。

■それぞれ、[はい]、[いいえ]の選択を間違ってしまった場合は、いったん[既存配布ファイル定義データの読込]ダイアログの[初期設定を読み込む]ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックして初期化し、再度[既存配布ファイル定義データの読込]を実行してください。

初期設定を読み込む

[配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました]とメッセージが表示されたら、これまでのSOX+カスタマイズ設定(旧バージョンの配布ファイル)の引き継ぎは終了です。

必要に応じて[項目名・データリスト][評価表]などのカスタマイズを行ない、新バージョンの配布ファイルを作成してください。

※詳細は製品と一緒にインストールされる『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』および『SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ③ SOX+整備/運用評価オプション と DesignTest の相違点

SOX+Ver3.3.0から、DesignTest は SOX+整備/運用評価オプション という製品に切り替わりました。

これまでDesignTestをお使いのお客様は、以下の表を参考にアップグレードを進めてください。

#### 1. 評価表

SOX+整備/運用評価オプションとDesignTestの[評価表](出力されるExcelファイル)は以下のように異なります。

DesignTest	SOX+整備/運用評価オプション	主な変更内容
業務整備状況評価一覧	業務整備評価一覧	資料タイトルが変更されています。
コントロール整備状況評価一覧	コントロール整備/運用評価一覧	資料タイトルが変更されています。 CSA、運用評価、不備対応などに関する出力項目が追加されます。
リスク整備状況評価一覧	リスク別有効性評価一覧	資料タイトルが変更されています。 CSA、運用評価、不備対応などに関する出力項目が追加されます。
整備状況の全体評価表	業務プロセス有効性評価表	資料タイトルが変更されています。

## 2. タブ名称・項目名

SOX+整備/運用評価オプションとDesignTestの標準のタブ名称・項目名は以下のように異なります。

SOX+整備/運用評価オプション	DesignTest	主な変更内容
[文書情報]ダイアログ	[文書情報]ダイアログ	
<b>[有効性評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	名称変更
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[問題点・改善内容等]	[問題点・改善内容等]	
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
<b>[有効性評価情報履歴]</b>	<b>[整備状況評価情報履歴]</b>	名称変更
[評価者]	[評価者]	
[評価日]	[評価日]	
[承認者]	[承認者]	
[承認日]	[承認日]	
[業務詳細]ダイアログ	[業務詳細]ダイアログ	
<b>[整備手順]タブ</b>	<b>[整備状況]タブ</b>	名称変更
[方法]	[方法]	
[テスト手順]	[テスト手順]	
<b>[整備評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	名称変更
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[評価者]		追加
[評価日]		追加
<b>[方法]</b>	<b>[問題点・改善内容等]</b>	用法変更
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
[承認者]		追加
[承認日]		追加
[IT業務詳細]ダイアログ	[IT業務詳細]ダイアログ	
<b>[整備手順]タブ</b>	<b>[整備状況]タブ</b>	名称変更
[方法]	[方法]	
[テスト手順]	[テスト手順]	
<b>[整備評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	名称変更
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[評価者]		追加
[評価日]		追加
<b>[方法]</b>	<b>[問題点・改善内容等]</b>	用法変更
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
[承認者]		追加
[承認日]		追加
[リスク]ダイアログ	[リスク]ダイアログ	
<b>[有効性評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	名称変更
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[評価者]		追加
[評価日]		追加
[問題点・改善内容等]	[問題点・改善内容等]	
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
[承認者]		追加

SOX+整備/運用評価オプション	DesignTest	主な変更内容
[承認日]		追加
[コントロール]ダイアログ	[コントロール]ダイアログ	
<b>[整備手順]タブ</b>	<b>[整備状況]タブ</b>	<b>名称変更</b>
[方法]	[方法]	
[テスト手順]	[テスト手順]	
[統制頻度]	[統制頻度]	
[計画サンプル数]	[計画サンプル数]	
[母集団]	[母集団]	
<b>[整備評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	<b>名称変更</b>
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[評価者]		追加
[評価日]		追加
[問題点・改善内容等]	[問題点・改善内容等]	
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
[承認者]		追加
[承認日]		追加
[CSA手順]タブ		追加
[CSA評価]タブ		追加
[運用手順]タブ		追加
[運用評価]タブ		追加
[不備対応]タブ		追加
[最終評価]タブ		追加
[ITコントロール]ダイアログ	[ITコントロール]ダイアログ	
<b>[整備手順]タブ</b>	<b>[整備状況]タブ</b>	<b>名称変更</b>
[方法]	[方法]	
[テスト手順]	[テスト手順]	
[統制頻度]	[統制頻度]	
[計画サンプル数]	[計画サンプル数]	
[母集団]	[母集団]	
<b>[整備評価]タブ</b>	<b>[整備状況評価]タブ</b>	<b>名称変更</b>
[評価]	[評価]	
[評価内容]	[評価内容]	
[評価者]		追加
[評価日]		追加
[問題点・改善内容等]	[問題点・改善内容等]	
[承認者コメント]	[承認者コメント]	
[承認者]		追加
[承認日]		追加
[CSA手順]タブ		追加
[CSA評価]タブ		追加
[運用手順]タブ		追加
[運用評価]タブ		追加
[不備対応]タブ		追加
[最終評価]タブ		追加

(注)旧バージョン配布ファイルの読み込みにより適用される名称は、旧バージョンで上記リスト値をカスタマイズしていない場合の名称です。  
旧バージョンで上記項目をカスタマイズしていた場合には、変更していた値が適用されています。

### 3. [評価] 結果登録のデータリスト

SOX+整備/運用評価オプションとDesignTestの標準のデータリストは以下のように異なります。

対象リスト項目	SOX+整備/運用評価オプションの標準リスト値	旧バージョン配布ファイルの読み込みにより適用されるリスト値(注)
[文書情報]ダイアログ -[有効性評価]タブ -[評価]	有効 不備 その他	○ △ ×
[業務詳細]ダイアログ -[整備評価]タブ -[評価]	○ × -	○ △ ×
[IT業務詳細]ダイアログ -[整備評価]タブ -[評価]	○ × -	○ △ ×
[リスク]ダイアログ -[有効性評価]タブ -[評価]	○ × -	○ △ ×
[コントロール]ダイアログ -[整備評価]タブ -[評価]	○ × -	○ △ ×
[コントロール]ダイアログ -[CSA評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -
[コントロール]ダイアログ -[運用評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -
[コントロール]ダイアログ -[最終評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -
[ITコントロール]ダイアログ -[整備評価]タブ -[評価]	○ × -	○ △ ×
[ITコントロール]ダイアログ -[CSA評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -
[ITコントロール]ダイアログ -[運用評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -
[ITコントロール]ダイアログ -[最終評価]タブ -[評価]	○ × -	○ × -

(注)旧バージョン配布ファイルの読み込みにより適用される名称は、旧バージョンで上記リスト値をカスタマイズしていない場合の名称です。  
旧バージョンで上記項目をカスタマイズしていた場合には、変更していた値が適用されています。

ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。  
iGrafx ヘルプデスク <bpm\_helpdesk@sunplanning.co.jp>  
サービス時間帯 : 平日10:00~17:00



株式会社サン・プランニング・システムズ

BPM推進事業部 bpm\_helpdesk@sunplanning.co.jp

<http://www.sunplanning.co.jp/product/igrafx/>

〒104-0033 東京都中央区新川 1-22-11 永代ビル 7F



## iGrafx / SOX+製品

# トレーニングセミナーのご案内

弊社では、内部統制文書化ツール SOX+や iGrafx FlowCharter、iGrafx Process 等の各種ツールの操作や使い方を詳しく説明する、1 日から数日間のトレーニングセミナーを実施しております。

セミナーでは、経験豊富な講師陣が、専用テキストをベースに多岐にわたる機能をわかりやすく実践的にご説明いたします。ツールの便利な機能を効率良くご活用頂く為にも、ぜひご利用下さい。

お一人でもお気軽に参加いただける定例開催トレーニングのほか、ご希望の日時と場所で開催する出張トレーニングも承っております。受講希望人数とご都合にあわせてご利用下さい。

- ▶ コース、価格、スケジュールなどの詳細は、弊社サイトの【iGrafx トレーニング】セクションをご覧ください  
<http://www.sunplanning.co.jp/product/igrafx/training/>

